

法令集タックインデックスの貼り方

2017.11.20

「数秒で引ける法令集の作り方」のタックインデックスの貼り方について解説する。

第一にタックインデックス(法文の見出し)は、法令集のどこに貼っても良い。ここで重要なのは、タックインデックスの貼り方を工夫すると、何も考えずに簡単に法令集を引くことが可能になるという点である。研究会は、この点を追求して、独自に何も考えず早く引ける方法を見つけたので紹介する。

法規の問題は、1問目「用語」、2問目「面積高さ」・・・と、毎年ほぼ同じ順番で項目別に出題されている。この点は、「1. 学科無料講座 3章5科目の過去問20年の項目別一覧表」を見て頂くと、最近の出題がほぼ同じ順番で毎年出題されていることが分かる(図1参照)。

そこで、この特性を利用して、出題される項目の順番で、1項目を1縦ラインとして、左上から時計回りにタックインデックスを貼る(写真1参照)。

1問目「用語」は、左上の縦ラインのみとする。こは、「用語」の過去問20年で出題される法文のみのタックインデックスとするのである。その隣は、「面積高さ」のタックインデックスである。この貼り方をすると、1縦ラインにあるタックインデックスだけを探すことになるので、あっちこっちのタックインデックスを探す必要がなくなる。

表3 Ⅲ法規の項目別一覧表(平成8年～平成27年)

NO	項目分類	年度																				出題数	出題確率		
		H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26			H27	
1	用語	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	20	3.7	
2	面積高さ	2	2	2	2	3	3	2	2	3	3	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	20	3.7	
3	建築手続	3	3	3	3	3	2	2	3	3	2	5	3	4	5	3	4	3	4	3	4	3	28	6.2	
4	一般構造	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	5	6	4	5	5	5	5	5	5	5	20	3.7	
5	防火	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	37	6.9	
6	遮熱	6	7.8	6.8	7.8	7.8	6.8	8	6.7	6.7	8	7	6.7	7.8	10	7.8	6.7		8	9	7	7	31	6.8	
7	内装	7	6	7	6	6	7	7			8	7	8	8					7				12	2.2	
8	設備	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	11	9	9	9	11			9	9	10	12	10	20	3.7
9	構造強度	10,11	11	10,11	10,11	10,11	10,11	10,11	10,11	9,10	9,10	10,11	10,11	10,11	9	11	12,13	11,12,13	11,12,13	11,12,13	10,11,12	11,12,13	11,12,13	45	8.4
10	遮音	13	12	12	12	12	12	12	12	12	13	12	13	12	13	12	14	14	14	15	14	14	15	20	3.7
11	用途制限	12	13	13	13	13	13	13	13	12	13	12	16	14	12	15	15	16	15	15	15	15	14	20	3.7
12	容積率・建ぺい率	15	15	14	14	14	15	14	14	14	14	15	14	13	15	16	16	13	16	16	16	16	16	20	3.7
13	高さ制限	16	14	15	15	15	16	15	15	15	15	16	15	16	16	17	17	18	17	17	17	17	17	20	3.7
14	防火地域	14	16	16	16	16	14	16	16	16	16	14		15	13	16	18	17	18	18	18	18	18	19	3.6
15	建築協定	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	20	3.7
16	建築法適合	18,18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	19	7,18	9	20,21	10,20	20	20	20	20	28	4.8
17	建築士法	20	21	21	22	21	20,21	21	21	19	19	19	17	18,25	19	21,22	20,20,21	21,22,23	21,22,23	21,22,23				39	7.9
18	都市計画法	23	22	21	23	22	22	22	22	20	20	20	20	20	20	26	27	26	24	24	24	24	24	17	3.2
19	消防法	23	24	23	23	23	24	23	21	21	21	19	21	21	25	27	29	24	25	25	25	25	19	3.6	
20	高齢者法	19	19	19	20	19	19	19			22	23	23	23	23	26	28	24	25	26	26	26	16	2.8	
21	建築改修法		20	20				19	22	23	24	24			27	29			27				11	2.1	
22	建築費法	21				22				20	20												3	0.6	
23	品質法							20	20	24			22		22							26	6	1.1	
24	建築法適合	22,24,25	22,25	24,25	19,24,25	24,25	24,25	23,25	24,25	23,25	24,25	22	23,24,25	28,29,30	30	29,28,30	28,29,30	28,29,30	28,29,30	28,29,30	27,28,30	27,28,30	27,28,30	60	9.8
	合計	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	30	30	30	30	30	30	30	30	535	100

各項目は、毎年、ほぼ同じ順番に出題されている。

図1 法規の過去問20年の項目別一覧表

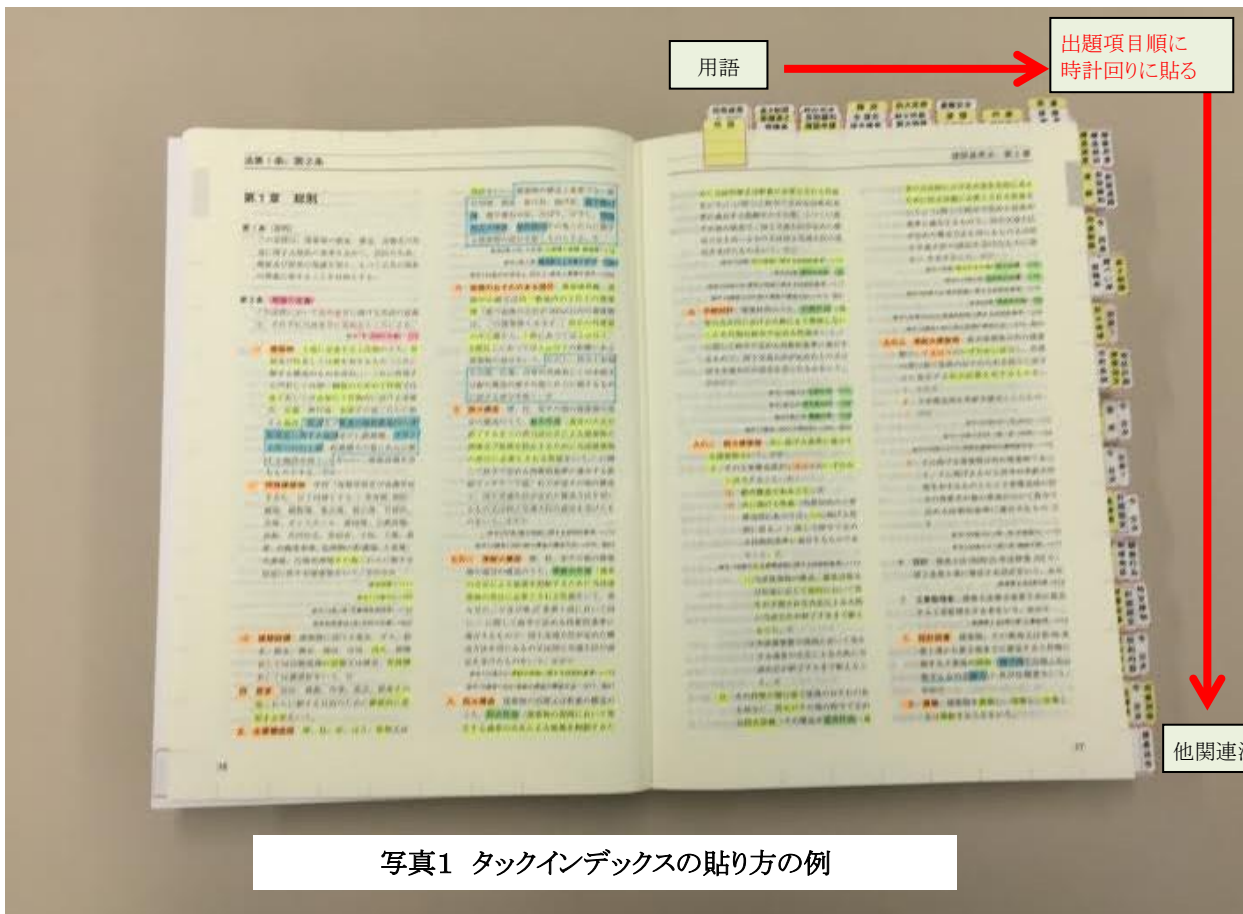


写真1 タックインデックスの貼り方の例

研究会のタックインデックスの貼り方は、各項目の最も出題確率の多いもの、又は目次等探しやすいものとした3ヶ所に貼っている(1項目が3ヶ所のタックインデックス)。更に、そのタックインデックスも、上から見て全てが見れるように5mmずつずらしながら3ヶ所に貼っている(図2参照)。タックインデックスの大きさは、縦17mm、横40mmであり、その横40mmの先端から5mmずつずらしながら貼れるようにしている。更に、その3ヶ所の中で、最も出題の多い法文、または目次としたものには、黄色タックインデックスとしている(図3参照)。なお、このタックインデックスの見出しは、シール用として会員講座でプリントアウトすることができる(全項目に対して3ヶ所の見出しあり)。法令集は、タックインデックスを項目ごとに1ライン確保するためB5版の法令集「(財)総合資格発行『最新年度版 建築関係法令集 法令編』」が良い。大きい法令集でないと、全ての項目について、1つの縦ラインとして割り振ることができない。

上記方法では、タックインデックスが各項目で最も出題確率の多いトップ3までとなる。例えば、1問目「用語」であれば、法2条、令1条、令115条の3が3ヶ所のタックインデックスとなる。その他の14法文をこの縦ラインに貼ると、全ての法文のタックインデックスがあるとなる。しかし、この1縦ラインに「用語」全ての法文のタックインデックスを貼るのは、かなり多いと言わざるを得ない。この残り14法文のタックインデックスを貼らない方法は、会員講座の「法規特化型講座(応用編)」で解説している。

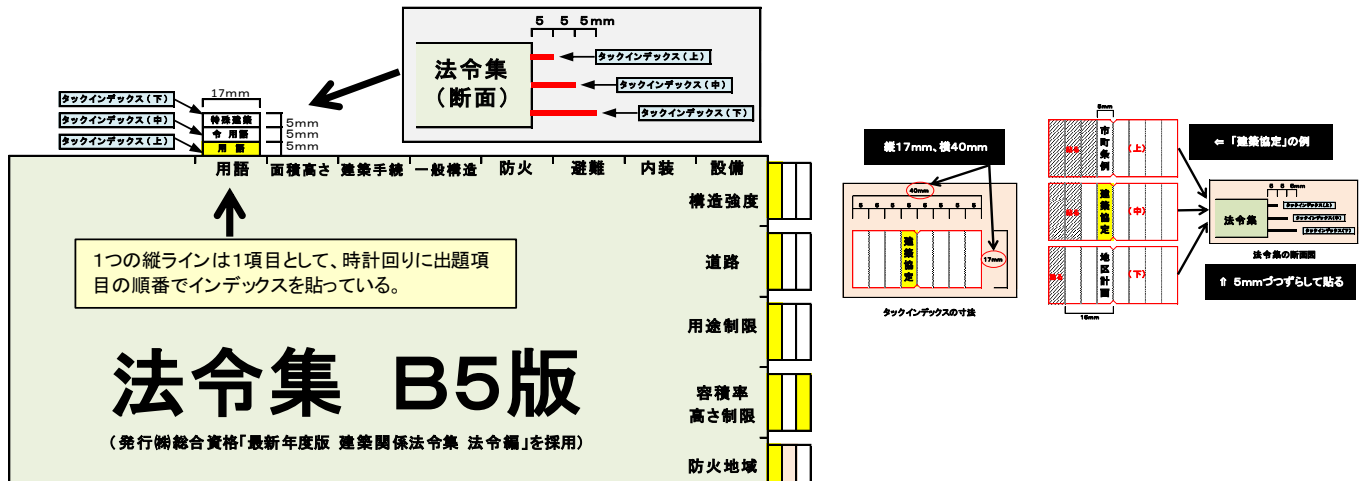


図2 タックインデックスの貼り方

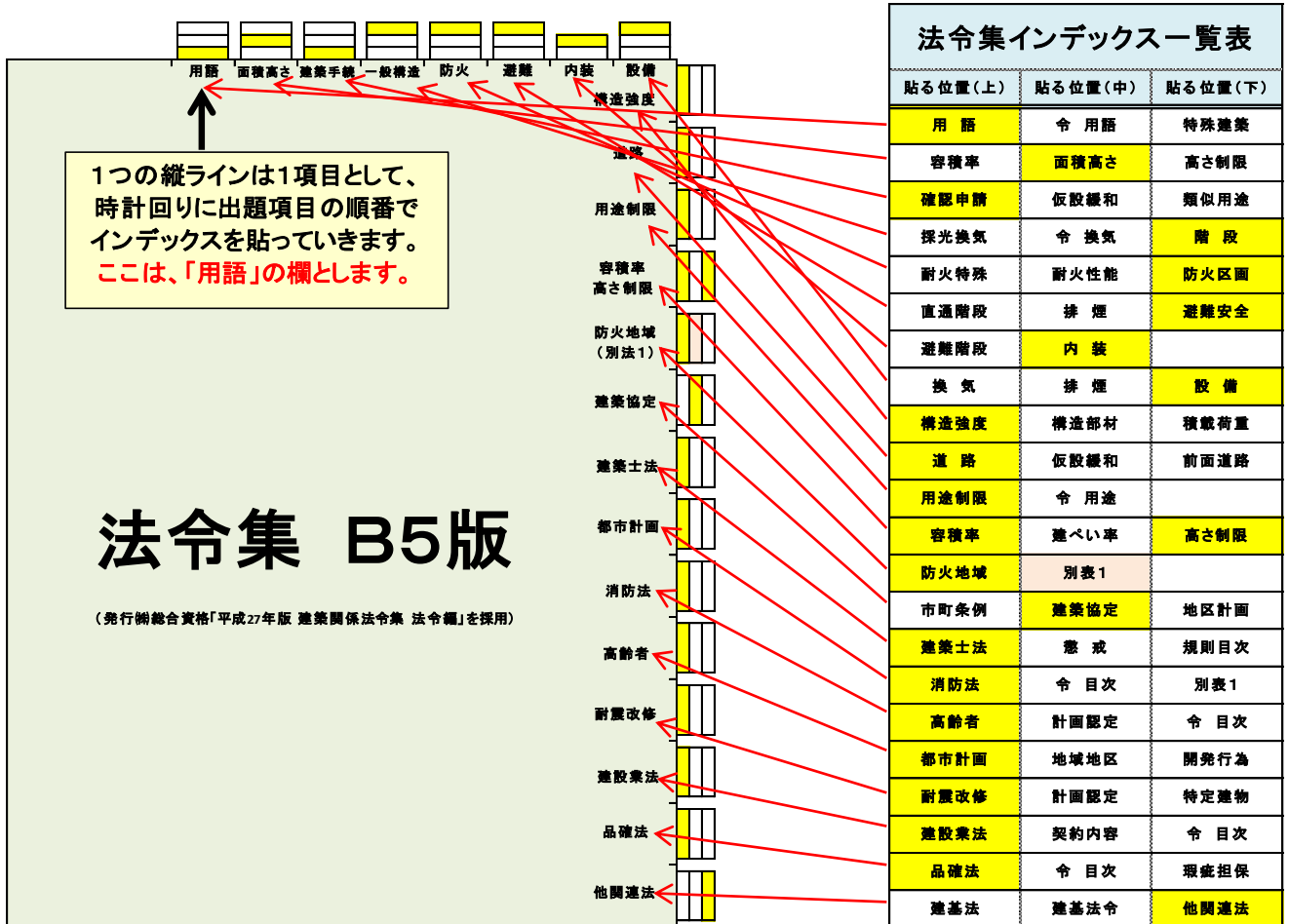


図3 タックインデックスの貼る場所